

NPO 法人岡崎がくどうの会

2023年度 学童保育指導員研修 レポート

【クラブ】（ 風の子クラブ ）      【名前】（ 伊藤博華 ）

○研修名 （ しょうがいのある子どもの理解と援助 ）

『しょうがいのある子どもの理解と援助』。このテーマの講義は、何度受けても反省の念がわきます。それは「しょうがいのある子どもは、医師からの診断書のある子どもだけではない。」ということをして失念してしまっているからです。子どもたちには、診断書があるかないかなど関係がありません。それにもかかわらず、診断書のある子どもたちにはそれ相応に接して、診断のない子には普通、一般を求めて厳しく接してしまっています。今日の先生の講義で、まったく間違っている自分を再認識しました。

子どもたちにとってインクルーシブな環境が保障されることが大事。それは学童保育だけではなく、学校、家庭でもそうなのでしょう。子どもたちは、自分の居場所を選ぶことができません。今の学童保育の環境（保育面積、収容人数、指導員の定員など）は、諸々の事情により変えることはできません。しかし、私たち指導員の志は、すぐに変えることができます。

実践ノートをもとにしたグループワークは本当に楽しい。他の学童保育所の指導員の意見、思いに共感できるところが安心に繋がります。どの指導員にも似た悩みがあり、それでも前に進もうとしている指導員の方々に出会えます。

これからも研修に参加して学んでいきたいです。